

KSN 通信 VOL.148

こんにちは。いつも弊社をご利用いただき、誠にありがとうございます。

春の七草といえどご存じの方も多いでしょうが、秋にも七草があることは意外と知られていないのではないのでしょうか。秋の七草は、万葉集に収められている山上憶良の2首の歌が始まりとされています。春の七草が七草粥にして無病息災を祈るものに対し、秋の七草はその美しさを鑑賞して楽しむものです。そのため、7種一緒に何かの祭祀などに使用されることはありません。また、秋の七草の特徴は、見て楽しめるだけではなく、薬用など実用的な草花として昔の日本人に親しまれたものが選ばれていることです。



■ KSN からのお知らせ

■ 排ガス測定(自社分析)の結果について

先般、実施しました弊社炭化施設の排ガス測定(自社分析)の結果についてお知らせいたします(下表)。今回も、国の規制基準を十分に下回る結果を得られました。これからも、法律・条令を遵守して環境保全に努めてまいります。

過去の測定結果につきましては、弊社ホームページ上にて随時更新しております。

排ガス測定結果(自社分析)

ダイオキシン (Ng-TEQ/m ³ N)	ばいじん (g/m ³ N)	硫黄酸化物 (ppm)	塩化水素 (ppm)	窒素酸化物 (ppm)
0.0079	0.009	5	<4	15

■ 環境ニュース

■ 「資源循環×デジタル」プロジェクトについて

環境省より、「資源循環×デジタル」プロジェクトについて、検討結果が取りまとめられました。

「資源循環×デジタル」プロジェクトは、近年急速に進展しているAI、IoT、ブロックチェーンなどのデジタル技術を活用し、情報のやりとりの拡大を通じて、使用済製品や有用金属等を国内で効率的に回収してリユース・リサイクルするため、資源循環の分野で、モノのトレーサビリティやコミュニケーションの促進機能を持つ情報プラットフォームの構築を目指すものです。国内の資源循環においては、リユース品としての価値や、有用な金属等による価値を更に有効活用できる余地があると考えられており、これらを活用するためには、主に回収・リユース・リサイクルに関する経済性や、技術的な課題などを改善する必要があります。使用済製品の機能、有用金属等の含有量、リサイクルの忌避物質などの資源循環に有用な情報をつなぐことで、更なる有効活用の可能性があるものと考えられており、今回、資源循環及びITプラットフォームの関係事業者へのヒアリングを行い、今後の方向性等についての検討が実施されました。それをもとに、2021年度以降具体的なフィールドを定めて、資源循環の促進に関するデジタル技術の適用可能性について実証を実施すると同時に、革新的なビジネスの創生に向けた取組を進めるとされています。

発行元：株式会社関西再資源ネットワーク

〒592-8331

大阪府堺市西区築港新町4丁2番5

TEL：072-320-9001（代表）

FAX：072-320-9004